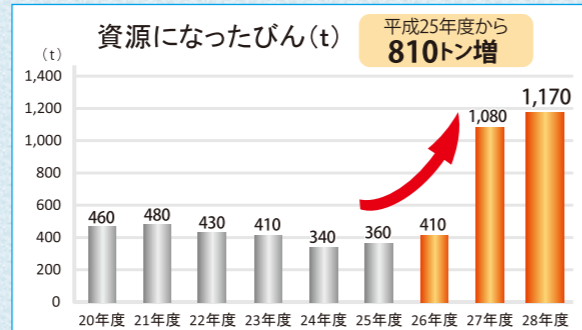
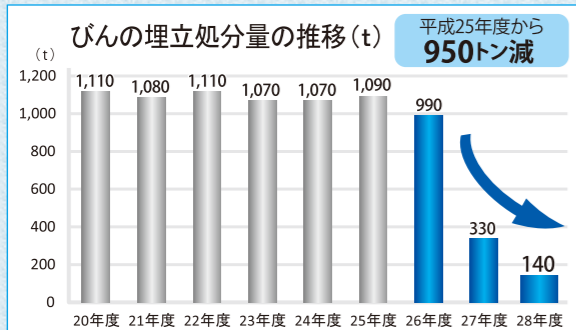


◇さまざまな努力をしています◇

割れて回収できなかったびんを大幅に資源化!

びんの埋立処分の量を減らし、資源として回収する量を増やしています。

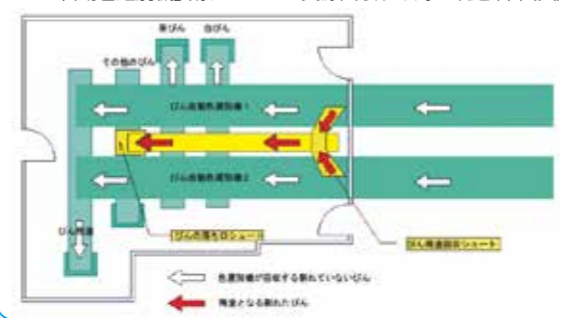


搬入されたびん類は、「びん自動色選別機」を通して白・茶・その他の3種類に分け、それぞれに資源となります。しかし、既に割れているびんは、資源にはならず、最終処分場で埋立処分をされていました。

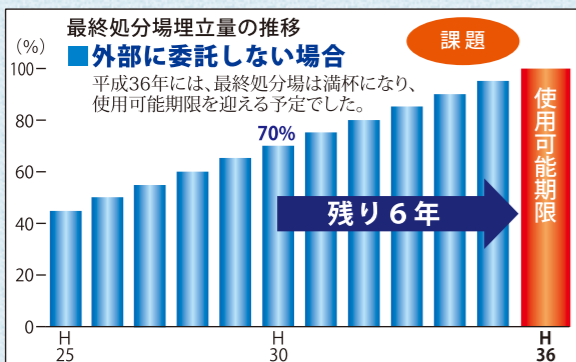
そこで資源リサイクル課では、割れたびんを何とかして資源として回収したいと考え、処理ライン増設工事を行いました。新しく設けたラインは、割れているびんを「その他の色」へ直接送ることができ、資源として回収することに成功しました。

その結果として平成27年度から、資源率が大幅に増え、びんの埋め立て処分量は減少しました。びんの資源率が増えたことは、最終処分場の延命化対策にもつながっています。

「びん自動色選別機」割れたびんを資源回収する為の改造(平面図)

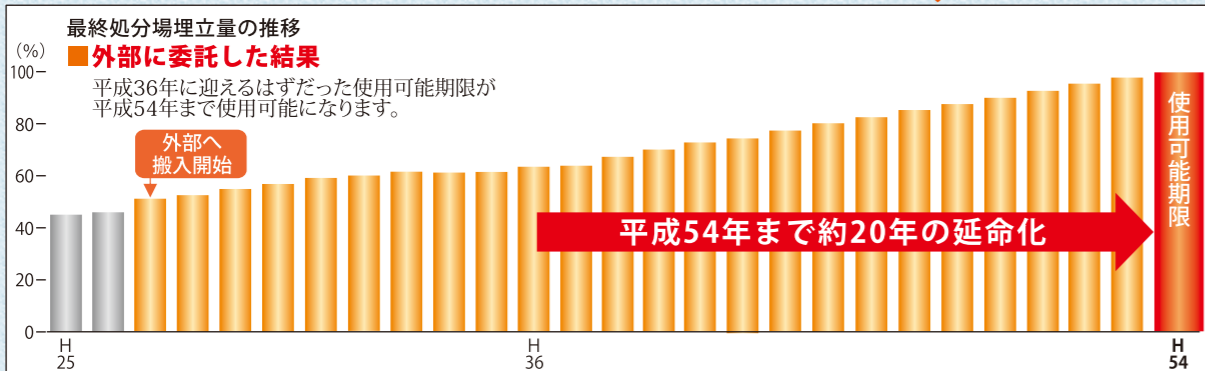


最終処分場延命化に向けた取り組み



平成27年12月から処理灰の約半分1,400トンを外部に搬入することで、

約50%の軽減!!



さしま環境管理事務組合 北茨城市と協定締結!



廃棄物と環境を考える協議会加盟団体
災害時相互応援協定



平成28年10月、当組合は北茨城市と災害発生時にそれぞれが相互に応援協力して応急措置を迅速かつ円滑に行うことを目的とした「廃棄物と環境を考える協議会加盟団体災害時相互応援協定」を締結しました。

これにより、災害が発生した場合、加盟団体が相互に協力し被災団体への災害応援を行うことができます。

また、平成28年12月には、廃棄物の減量と資源化の促進、未来の地球環境の保全に寄与することを目的に設立された「廃棄物と環境を考える協議会」に入会しました。当組合としてもさらなる環境対策に取り組んでまいります。

北茨城市の協力のもと協定締結や協議会への入会が実現し、豊田 稔北茨城市長をはじめ関係各位にあらためて感謝を申し上げます。